

山上ホテルに泊まるハイキング 10日間

山の中腹に建つ3ヵ所の山上ホテルに泊まり、朝夕の景色を楽しむ



ホテルシュワルツゼー(ツェルマット)

- ◇ヨーロッパ最高点、マッターホルングレッシュャーパラダイス展望台(3883m)より眼前に迫る名峰を眺める
- ◇エギスホルン展望台より全長22kmのアレッチ氷河を望む グリンデルワルトと反対側のユングフラウ三山の眺望
- ◇ミラーレイクにヴェッターホルンが映し出される山上湖バッハアルプゼーへのハイキング 高山植物の散策

旅行期間	旅行代金
7/2(木)	¥478,000
7/21(火)	¥498,000

- 定員／12名定員(最低実施人員6名)
- 締め切り／各出発日の1か月前
- 出発空港／成田空港・関西空港
- 1人部屋追加料金／¥58,000
- 健脚度／ 初心者の方やご家族でも安心してあるけます。平坦な道を1〜3時間程度。
- 添乗員／初日のチューリッヒ空港から帰国日のチューリッヒ空港まで同行

※燃油付加運賃28,400円、現地空港税6,130円、空港施設使用料・保安料2,660円(成田)、3,100円(関西) 国際観光旅客税1,000円 が必要です。(変動あり)

ツェルマット (1606m)

ツェルマットの町は、ローヌ谷周辺の谷の1つであるマッター・バレーの南端に位置する。スイス最高峰マッターホルンの麓にあり世界中からトレkkerやスキーヤーが集まる。町自体は小さく1時間程度で十分あるいて楽しめる。街中には登山用品を売る店

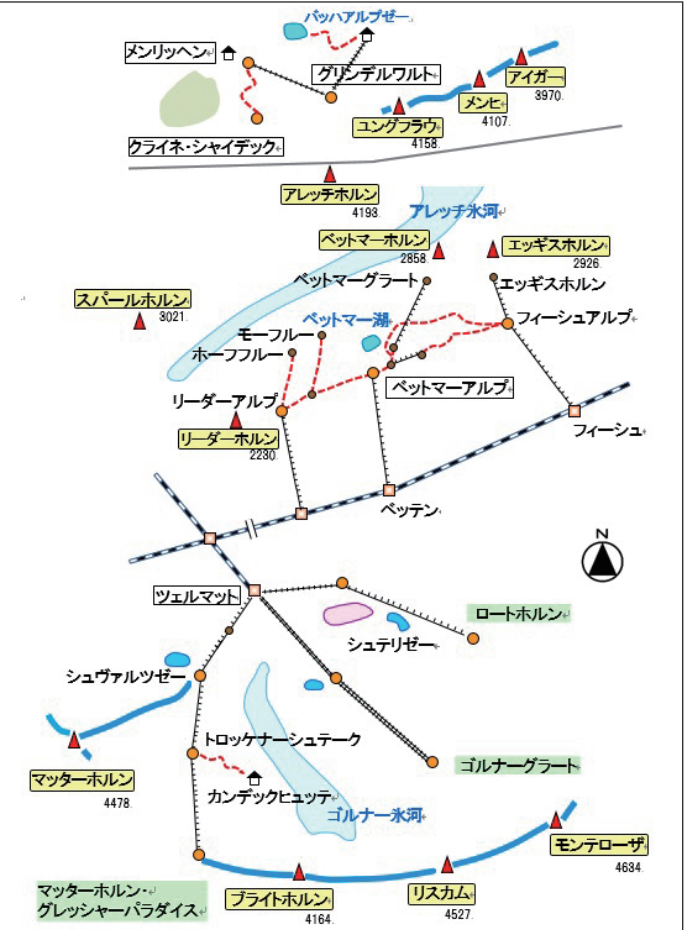
やスーパーマーケット、お土産屋、教会などがひしめき合っており、夏シーズンには山羊の行列がメインストリートを行進するイベントがある。大気汚染をふせぐために電気自動車以外の乗り入れが禁止されており、騒音もなく、人の集まるエコの町といったところ。家族連れの人も行ける山小屋も点在しており、宿泊者はヴァリスの山々と朝夕の眺めを楽しむことができる。



山上ホテルから朝焼けのマッターホルン



アレッチ氷河



旅程表				
日次	都市	時刻	摘要	食事
7月2日(木) 7月21日(火)	成田・関空発 ヨーロッパ1都市着 ヨーロッパ1都市発 チューリッヒ着	午前 夕刻 夜	空路 ヨーロッパ1都市を経由してチューリッヒへ【時差：7時間／所要時間：約15時間】 列車でチューリッヒ中央駅へ ホテル着	機 機 ×
7月3日(金) 7月22日(水)	チューリッヒ フィス ツェルマット着	午前 午後	午前、チューリッヒ市内自由見学 (バーンホフ通り、リンデンホフの丘、チューリッヒ湖など) 列車でマッターホルンの麓ツェルマットへ ロープウェイでシュワルツゼー湖畔(2583m)の山上ホテルへ 着後、自由見学 山上ホテルから眼前にマッターホルン(4478m)の眺望	B ×
7月4日(土) 7月23日(木)	ツェルマット	午前 午後	ロープウェイで展望台マッターホルン・グレッシュャーパラダイス(3817m)へ 氷河の眺め を楽しんだ後、トロッケナー・シュテーク(2939m)へ ハイキング 【↑↓90m／登り30分、下り25分】 ガンデック・ヒュッテ(3029m)へ往復ハイキング マッターホルン(4478m) ブライトホルン(4164m)リスカム(4527m)モンテローザ(4634m)の眺望をお楽しみください 午後、自由見学	B ×
7月5日(日) 7月24日(金)	ツェルマット発 ベッテン ベッマールプ	午前 午後	ロープウェイでツェルマットの町まで下る 列車でアレッチ地方ベッテンへ ロープウェイでベッマールプ(1935m)の山上ホテルへ モースフルー展望台(2335m)に上がる 眼下にブラウゼー、遠くにマッターホルンを眺める ハイキング 【↓272m／1時間】1駅下のブラウゼー(2207m)からベッマールプに下る	B ×
7月6日(月) 7月25日(土)	ベッマールプ	午前 午後	ロープウェイでエギスホルン展望台(2878m)へ アレッチ氷河とユングフラウ(4158m)の大パノラマをお楽しみください ハイキング 【↓262m／2時間】フィッシュアルプ駅(2212m)に下りてから、ベッマールプへハイキング 四方を山々に囲まれた見晴らしの良いコースです 復路は一部リフトも利用可	B ×
7月7日(火) 7月26日(日)	ベッマールプ シュピーツ グリンデルワルト メンリッヘン	午前 午後	午前、自由見学 列車でグリンデルワルトへ 登山列車でメンリッヘン(2230m)の山上ホテルへ 眼下にグリンデルワルトの町を一望 360度のパノラマをお楽しみください 周辺の散策	B ×
7月8日(水) 7月27日(月)	メンリッヘン クライネシャデック ウェンゲン メンリッヘン	午前 午後	ハイキング 【↓168m／2時間15分】クライネ者デックへのハイキング アイガー(3970m)メンヒ(4107m)ユングフラウ(4158m)の3山へ向かってあるきます クライネシャイデック到着後、周辺の散策(ご希望の方は山上湖までご案内) 登山列車でウェンゲンに下りて、ロープウェイでメンリッヘンへ	B ×
7月9日(木) 7月28日(火)	メンリッヘン フィルスト グリンデルワルト	午前	ロープウェイでフィルスト(2167m)へ ハイキング 【↑↓97m／2時間】"アルプスの宝石"、バッハアルプゼーへのハイキング 谷を挟みアイガー(1970m)やシュレックホルン(4078m)の眺望 湖の周りにはキンボウゲやサクラソウなど グリンデルワルトに戻り、ホテルへ	B ×
7月10日(金) 7月29日(水)	グリンデルワルト発 チューリッヒ発 ヨーロッパ1都市着 ヨーロッパ1都市発	朝 午前	列車でチューリッヒ空港へ(3時間) 空路 ヨーロッパ1都市を経由して帰国の途へ【時差：7時間／所要時間：約14時間30分】	サ 機
7月11日(土) 7月30日(木)	成田・関空着	朝	お疲れ様でした！ 【旅程表のマーク】：B＝朝食、L＝昼食、D＝夕食、機＝機内食、サ＝サンドイッチなどのお弁当 【利用予定航空会社】：スイス・インターナショナル・エアラインズ、KLMオランダ航空、ボーランド航空、フィンランド航空、スカンジナビア航空 【利用予定ホテル】：<チューリッヒ>トリップイン <ツェルマット>シュワルツゼー<ベッマールプ>ワルドハウス <グリンデルワルト>ベルクハウス、レジデンス、ダービー 他 ※山上ホテルは個室(2ベッドルーム・シャワー付き)です	機

ベッマールプ(1935m)

ヴァレー州アレッチ地方にある山岳リゾート。ローヌ谷北側の断崖の上に広がるテラス状の台地に位置し、隣りの村リーダーアルプなどの集落とともに、アレッチ地区と呼ばれている。東西に広がるアレッチ地区の標高は約2000mで、ベッマールプは1935mである。村からローヌ谷を挟んでミシャベル山群やマッターホルンなど、ヴァレー州の山々の眺望を得ることができる。ベッマールプからさらにゴンドラなどを利用して展望地点まで上がると、スイスアルプス最長・最大のアレッチ氷河の景観が広がる。アレッチ氷河と周辺地域は、「スイス・アルプス ユングフラウ・アレッチ」の名称で、世界自然遺産に登録されている



エギスホルン(2927m)

グリンデルワルト (1034m)

アイガーとヴェッターホルンを眼前にして、2つの氷河が迫りくるアルプスの村。ユングフラウ地方を観光する拠点として人気。この村を訪れる観光客は年間100万人以上。古くから多くの日本人に愛されてきており電車を降りるとすぐに「日本語観光案内所」の看板を目にする。村の中心から発着するロープウェイで



バハアルプゼー

結ぶフィルスト展望台、グリンデルワルト氷河への観光拠点でもあるブフィングシュテック展望台、ヨーロッパで最高地点の鉄道駅でアレッチ氷河を含む一帯がユネスコ世界遺産に認定されているユングフラウヨッホなどスイスを代表するアルプスのエクスカッションが楽しめる。